

よらねがね小合

「自主 協力 創造」〜小合中の教育〜

新潟市立小合中学校校長 太田 公仁



令和4年4月に小合中学校長を拝命し、着任いたしました。このたびは中学校紹介の機会をいただきましたので、「小合中の今」を地域の皆様にご紹介いたします。

創立75周年を迎える小合中は、これまで培ってきた伝統に立脚し、地域の宝である生徒たちにこれからの社会を生き抜く確かな力を育成するため、保護者・地域総がかりで教育活動を行っております。昨今の社会の変化は一層激しくなっており、学校教育もまた時代に押されて大きく変わってきています。猛暑が続くようになつた気候に合わせて全教室にエアコンが設置されましたし、生徒全員にタブレットが

発行者
小合地域コミュニティ協議会
(コミュニティセンター内)
☎0250-25-2299

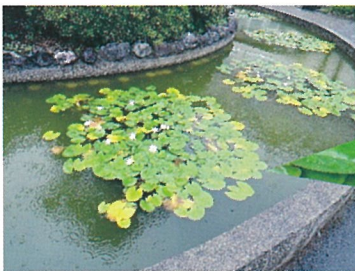
発行人/古田 治
編集/総務部

地域の人口動態
令和4年7月末現在

世帯数	1,260	世帯
男	1,766	人
女	1,823	人
人口	3,589	人

配付され、すべての授業での使用環境が整うとともに、家庭にも持ち帰って使用できるようになりました。一例を挙げれば、5月の生徒総会はタブレットに電子データ資料が配られ、紙資料は一切ないペーパーレスの総会でした。エアコンもペーパーレス会議も、実社会ではそれ当たり前となつていくことを思うとき、決して早くはありませんでしたが、学校教育も当然の変化が起きているととらえています。

変わらぬものもありません。小合中学校は、表題にも示しました「自主 協力 創造」の教育目標を掲げ、その実現を目指して教育活動を行っております。私超えて普遍的な価値を示したすばらしい目標であると思っておりますし、このような目標を掲げてくださった先人の関係者に敬意を表するものです。さらに、先日目にしたOECD(経済協力開発機構)の出した「これからの教育の指針」The Learning Framework 2030では、これからの教育は「創造」を培うことが第一と提言されていきました。小合中の教育目標は、2030年社会を見据えた世界基準の目標とも合致したものであることが分かり、いっそ



小合中学校前庭の丸池で今年も可憐に咲きほこるひつじぐさ
花言葉「清純な心・純潔・信頼」

うその実現目指して教育活動を推進していく決意を新たにしたいところです。令和4年度からは、コミュニティ・スクールが動き出しましたことも学校の変化の一つです。地域皆様のご理解とご支援を得ながら、着実に教育活動を行ってまいります。

～小合コミ協各専門部 活動報告＆今後の予定～

【総務部】

令和4年度実施を予定していたコミ協まつりは中止とします。コミ協芸術祭は、11月6日(日)開催予定です。

【文化教養部】

9月25日(日)陶芸教室を開催します。作品は芸術祭に出品します。

【福祉厚生部】

7月24日(日)お役立ち講座を開催しました。秋葉区健康福祉課より「コロナ禍の中での健康管理について」、続いて認知症の人と家族の会新潟県支部副代表の等々力務様より「認知症になっても住み慣れた地域で暮らすために」と題し、講演



等々力氏による講演の様子

をしていただきました。講演後には小合おどろて会の皆様が踊りを披露し、充実の講座となりました。

10月9日(日)予定の「小合地区敬老会」は、コロナ感染拡大の現況を考慮しコミ協主催での実施を中止します。

令和5年2月4日(土)予定の「高齢者福祉学級」は、今後のコロナ感染拡大の状況を見ながら実施の可否を検討します。

令和5年2月4日(土)予定の「高齢者福祉学級」は、今後のコロナ感染拡大の状況を見ながら実施の可否を検討します。



おどろて会の皆様の「新津松坂」

【保健体育部】

7月17日(日)の実施をご案内していただきました菩提寺山での「小合健康ウォーク」は、付近で熊出没警報発令中のためやむなく中止にさせて

頂きました。

11月20日(日)第11回輪投げ大会を開催予定です。

【防災環境部】

令和4年度の小合地域自主防災訓練は、10月30日(日)に実施します。今回は、一次避難所に避難し、要援護者・避難しなかった世帯の把握について検討して頂く予定です。

7月10日(日)午前7時よりコミセンの植栽の剪定と除草作業を行いました。当日は、天候にも恵まれ地域の方、各専門部の代表、コミセンの役員員総勢22名で行いました。



感染症対策・水分補給もしっかり

松の剪定は、地域の専門の方に手掛けていただき素晴らしく仕上がりました。コミセンの敷地内も除草

剤の散布及び、刈払い機で環境美化に努めました。しかし、雑草は強し。現在は、草も既に元気を取り戻している様子です。



松もさっぱりと夏の姿に

【編集後記】

新型コロナウイルスの感染状況を気にながら生活を続けて、もう二年半が過ぎました。第6波が少し下火になり、政府の感染規制が少し緩和された時、外で人と会わない場合はマスクを外しても良いと報道されましたが、そのことに対して『私は恥ずかしくてマスクは外せない』と言う児童がいたそうです。私たちはいつの間にかコロナの生活に慣らされてしまっています。早くコロナを気にしなくても良い時代が来てほしいと思います。

(総務部 I)